

ehx

NYC • DSP

DEEP FREEZE

取扱説明書

Sound Retainer



electro-harmonix Deep Freeze サウンド・リテイナーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。Deep Freeze はボタンを押すだけで単音やコードを無限にサステインさせることができ、フリーズしたサウンドの間をグリッスさせたり、レイヤーで音を重ねたり、演奏に合わせて自動的に単音やコードをフリーズさせることが可能です。これらの機能全てがこの非常にコンパクトなペダルボード・フレンドリーなパッケージに詰まっています！

操作方法

付属の 9.6DC-200 アダプター (DC 9V センターマイナス極性 200mA) を本体上部の DC9V ジャックに接続します。Deep Freeze はアナログ / デジタルを選択可能なバッファード・バイパスを採用しており、バイパス状態でも電源供給が必要です。楽器を INPUT ジャックに接続し、OUTPUT ジャックとアンプのインプットジャックを 1/4" モノフォンケーブルで接続してください。フットスイッチを押して、ステータス LED が点灯したら準備完了です。

コントロールと接続

1. MODE ボタン

フットスイッチがどのようにエフェクトをコントロールするか選択します。

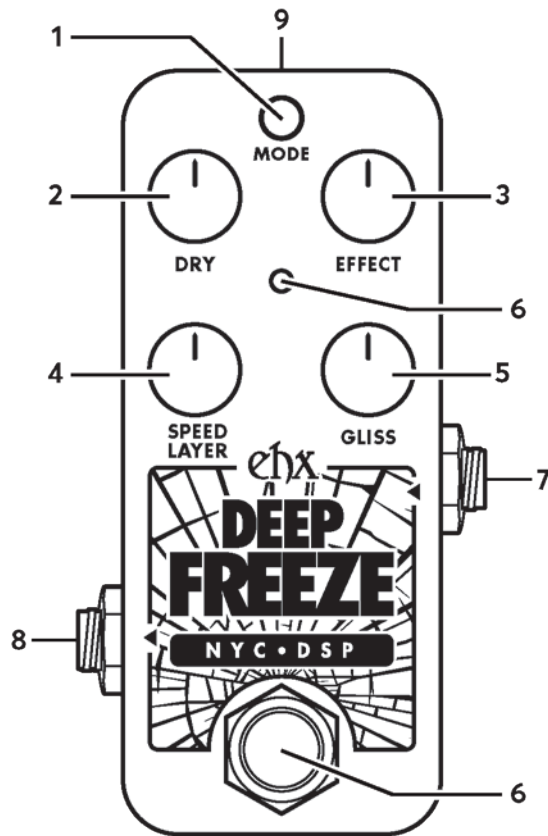
LATCH モード (LED=緑)

単音またはコードを弾いて、フットスイッチをタップしてエフェクトを起動すると LED が緑に点灯します。フットスイッチを離すとサウンドがフリーズされ永久的に継続します。フットスイッチを 2 回タップ (ダブルタップ) するとフリーズされたサウンドが止まりバイパスモードになります。

注意

電圧：DC9V 消費電流値：100mA 極性：センターマイナス

このデバイスには Electro-Harmonix 9.6DC-200mA アダプターが付属しています。間違ったアダプターを使用すると故障の原因となり、保証対象外となりますのでご注意ください。また、10.5VDC 以上の電源を供給しないようにご注意ください。100mA 未満の電流値は、デバイスの動作が不安定になる原因となります。



フットスイッチを押すごとに INPUT ジャックへ入力されるサウンドがフリーズされます。SPEED/LAYER ノブを使用するとフリーズされたサウンドをレイヤーで重ねることができます。フットスイッチを押した瞬間のノブの設定で前のレイヤーのボリュームを設定します。SPEED/LAYER ノブを最小に設定するとレイヤー機能が無効になり、最大に設定するとフリーズしたレイヤーはそのままの音量を保ちます。

MOMENT モード (LED=オレンジ)

単音またはコードを弾いて、フットスイッチを長押ししてエフェクトをアクティブにすると LED が点灯します。フットスイッチを押している間フリーズエフェクトが永久的に継続します。フットスイッチを離すと DEEP FREEZE はバイパスモードになります。

AUTO モード (LED=赤)

新しい単音やコードを弾く度に DEEP FREEZE が感知し自動的にフリーズします。フットスイッチを押してエフェクトを ON にすると LED が赤く点灯し、フットスイッチをダブルタップするとバイパスモードへ戻ります。SPEED ノブは、オート・フリーズのフェードアウトタイムを設定します。最大に設定するとサステインさせる音はフェードアウトしません。オート・フリーズ中にフットスイッチを長押しすると、新しいシグナルは入力されず、フリーズしたサウンドの上で演奏できるようになります。

2. DRY ノブ

INPUT ジャックに入力される信号の音量を調節します。

3. EFFECT ノブ

エフェクト信号の音量を調整します。

4. SPEED/LAYER ノブ

LATCH モードでは重ねる前の音の音量を調整します。MOMENT モードではエフェクトのアタック(フェードイン)とディケイ(フェードアウト)のスピードの調整をします。AUTO モードでは、新しい音を弾いた後にエフェクトのディケイスピードを調整します。このコントロールをディケイではなくアタックへ変更する方法は「オート・ディケイ&アタックモード」セクションをご参照ください。

5. GLISS ノブ

グリス効果のスピードを設定します。グリスはフリーズしたサウンドを次のサウンドに変化させる効果で、多くのシンセサイザーが搭載しているポルタメント機能のようなものです。右に回していくとグリス効果がゆっくりになります。グリス効果を OFF にするには、反時計回り一杯まで下げます。

演奏上のポイント：グリス効果は本機を AUTO モードにすると簡単に使えます。DRY コントロールを反時計回りに完全に下げて、GLISS と SPEED/LAYER コントロールを 12 時より右に設定して下さい。

6. フットスイッチ&LED

このスイッチで、本体エフェクトの ON/OFF(バイパス)を切り替えます。LED の色は選択されたモードタイプを表示します。

7. Input ジャック

楽器を接続する入力端子です。入力インピーダンス 2.2M Ω 、最大入力レベル +1.5dBu

8. Output ジャック

エフェクト信号を出力する端子で、アンプや後段のエフェクター等に接続します。出力インピーダンス 680 Ω 、最大出力レベル +2.1 dBu

9. 9V 電源ジャック

電源アダプターを接続する入力端子です。必ず付属の electro-harmonix 9.6DC-200 AC アダプターを使用して下さい(それ以外の、誤った AC アダプターの使用は故障や事故の原因となります)。消費電流は 100mA で、電源アダプターは 9VDC センターマイナスです(10.5VDC 以上の電源を供給しないようにご注意ください)。

オート・ディケイ&アタックモード

AUTO モードの場合、初期設定で SPEED ノブはフリーズエフェクトのディケイ (フェードアウト) タイムを調整します。SPEED ノブが高く設定されるほどディケイタイムが長くなります。最大にするとフリーズされたシグナルはフェードアウトせず、次の音を認識するかエフェクトが OFF になるまで継続します。オプションとして、SPEED ノブのコントロールをディケイからアタック (フェードイン) タイムをコントロールするように変更することができます。この場合、SPEED ノブの設定を高くするとアタックタイムが遅くなります。

AUTO SPEED ノブをアタックモードへ変えるには次の手順に従ってください：

1. MODE ボタンを長押しします。
2. 2 秒後に LED が素早く 3 色に点滅します。
3. ボタンを離すとオート・アタックが設定されます。
4. 再度オート・ディケイへ戻すにはこの手順を繰り返してください。

AUTO SPEED ノブの設定は、電源の再投入後も記憶されます。

バイパスモード&選択

DEEP FREEZE は 3 つのバイパス・トポロジーが選択可能です。

デジタル・バイパス (LED=緑)

初期設定のバイパスモードです。このモードではシグナルはフルデジタルで、バイパス / アクティブの切換が最もスムーズです。

アナログ・バイパス (LED=オレンジ)

バイパスシグナルはアナログでバッファードです。アナログ・バイパスはバイパス時に最も自然で色付けされていないサウンドです。

ハイブリッド・バイパス (LED=赤)

エフェクトからバイパスへ移行する際バイパスシグナルはデジタルですが、演奏に一時的な間合いがある場合ペダルはシームレスにアナログ・バイパスに切り替わります。

ハイブリッド・バイパスはバイパスシグナルの大半をアナログにしたまま、エフェクトからバイパスへのスムーズな移行を可能にします。

工場出荷時はデジタル・バイパスが設定されています。バイパス・トポロジーを変更するには次の手順に従ってください：

1. DEEP FREEZE の電源を切ります。
2. フットスイッチを長押しします。
3. フットスイッチを長押ししながら電源を入れます。
4. フットスイッチをそのまま 2 秒間押し続けると、LED が素早く点滅します。
5. フットスイッチを離します。LED が点滅している色が設定されたバイパスを表しています。緑がデジタル、オレンジがアナログ、そして赤がハイブリッドです。
6. MODE ボタンを押す度に LED の色が変わります。
7. LED の色がお求めのバイパスモードと一致したらフットスイッチをタップして確定します。

バイパスモードの設定は、電源の再投入後も記憶されます。

正規輸入代理店

株式会社 キョーリツコーポレーション

〒468-0002
愛知県名古屋市長白区焼山 1 丁目 813 番地
E-MAIL : support@kyoritsu-group.co.jp